

令和8年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答 弁 者
2	15	佐 野 寿 夫 議員		1 / 1
発 言 項 目				答 弁 者
1 流域治水への貢献と農業振興を両立する、ふじのくに「田んぼダム」を本市にて推進することについて	<p>(1) 本市における近年の道路冠水や内水氾濫の発生状況をどう把握しているか。また、河川改修などのハード対策には長い年月と巨額の費用を要することから、あらゆる関係者が協働して治水を行う「流域治水」への取組が必要不可欠と考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 本市には、世界遺産富士山の構成資産でもある白糸の滝から連なる、豊かな水田地帯を擁する地域（猪之頭、白糸、北山、上野、芝川）が広がっている。これらが持つ天然のダムとしての治水機能と危機防災面を都市整備部、危機管理局としてどのように評価されるか伺う。</p> <p>(3) 静岡県が推進する、ふじのくに「田んぼダム」は、既存の水田の排水口に調整板（堰板）を設置するだけで、初期投資を抑えて大きな治水効果を生む先進的な取組である。本市において、特に下流の市街地や住宅地の浸水被害を軽減する効果が高いと見込まれる水田エリアの抽出や、導入に向けたポテンシャル調査を行う考えはあるか伺う。</p> <p>(4) 本市でも、各地域農業者の協力を得て、1～2か所のモデル地区を設定し、県と連携しながら効果や農作業への影響を検証する実証実験に着手してはどうか、当局の意向を伺う。</p> <p>(5) 「田んぼダム」は、あくまで稲の生育に影響を与えない範囲（数センチ～十数センチ程度の一時的な湛水）で行う営農優先の取組である。また、大雨時に農家が見回りをする必要はなく、事前に器具をセットしておくため安全である。こうした仕組みや安全性を、地域の農業者や関係団体に丁寧に周知し、理解を広げていくためのアプローチをどう考えているか伺う。</p> <p>(6) 「田んぼダム」の実施には、排水口を絞るための調整ノズルや調整板などの器具が必要となる。国や県の「多面的機能支払交付金」などの既存の補助制度をどう活用していくか。また、不足分に対する市独自の資材購入補助など、農家が導入しやすい環境を整える財政的支援の考えはあるか伺う。</p>			市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
2 安心して産み育てられる環境整備。スマートフォンを活用した「産婦人科・小児科オンライン相談サービス」の導入について	<p>(1) 本市の妊婦数、児童数（乳児、幼児、少年）の推移（直近5年度）と今後の動向を伺う。</p> <p>(2) 小中学校別の新入学児童生徒数の推移（直近5年度）と今後の動向を伺う。</p> <p>(3) 本市において、「産婦人科・小児科オンライン相談サービス」を市として一括契約し、子育て世帯へ無料、あるいは低価格で提供する考えはないか、当局の見解を伺う。</p>			市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長